



空の日

9月20日は空の日。文字通り「空」にまつわる本をご紹介します。

『世界で一番美しい空港』

エクスナレッジ



流線形の近代的な建物、施設内に美しい水槽や植物園のように草木が植えられていたりなど、その国や地域を表す個性的な建築物である空港。世界中の空港の写真を眺めると、まるで世界中を周遊しているかのような気持ちにさせてくれる1冊。

『空の絵本』

長田弘 作 荒井良二 絵/講談社



雨が降り、風が吹き、雲が流れ、そして太陽が昇り沈んでいく。そんな空の移り変わりを、詩人と絵本作家がコンビを組んで描いた絵本。鮮やかで美しい風景がみずみずしい言葉とともに描かれています。お子さんと一緒に読んでほしい1冊。

『すごい空のを見つけかた』

武田康男 写真・文/草思社



夜明けや夕焼け、飛行機から見下ろした雲の群れなど、ほんの数分で終わってしまう気象現象。30年以上上空の写真を撮影してきた著者のよりすぐりの写真とともに、その現象が起こる理由や見られる方法を体験と科学的知見をもとに解説した1冊。

『空を見上げてわかること 身近だけど知らない気象予報士』

斎田季実治 著/PHP 研究所



NHKで気象キャスターとして活躍する著者が、なぜ気象予報士という仕事に就いたのか？ また、気象予報士の仕事の中身や自然災害が身近になった今、知っておきたい身を守るための気象情報についても、読み手に語りかけるようにやさしく説明した1冊。

今月の新着図書
一般書 ●『不登校・登校しづり』藤枝静暁/ナツメ社 ●『ぼくはあと何回、満月を見るだろう』坂本龍一/新潮社 ●『測る世界史』ピエロ・マルティン/朝日新聞出版 ●『人気No.1にダメされないための本』小林直樹/日経BP ●『農家が教えるいもづくし』農文協/農山漁村文化協会

児童書 ●『名探偵ポアロ スタイルズ荘の怪事件』アガサ・クリスティー/早川書房 ●『ようかいむらのきもだめしキャンプ』たかいよしかず/国土社 ●『ぼくは本のお医者さん』深山さくら/佼成出版社 ●『小学生の何でもお悩み相談室』関和之/旺文社 ●『かいけつゾロリいきなり王さまになる？』原ゆたか/ポプラ社PHP研究所

おはなし会を開催します

— 3会場とも午前10時30分から行います —

- 加悦分室…9月9日(土) ● 野田川分室…9月23日(祝) ● 本館…10月7日(土)

● 問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
● 開館時間/午前10時~午後6時 ● 休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)



がんばってます！消防団

編集●第1分団

小型ポンプ操法を披露！

7月9日、大江山運動公園グラウンドにおいて「与謝野町消防団町長査閲」が実施されました。5月の連休明けから訓練を開始。約2ヵ月間、多くの団員が参加し各分団とも一丸となって訓練を行いました。第1分団は、令和6年度に小型ポンプ操法で京都府消防操法大会への出場が決定しているため、昨年度の団長巡視に続き小型ポンプ操法を披露。要員は着実に力を付けてきていますが、今後はさらに正確な訓練が求められます。団員のご家族の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



小型ポンプ操法を披露する第1分団

9月9日は救急の日

9月3日~9日は「救急医療週間」

急な病気やけがなど、救急事故が発生しても応急手当が適切に行われたことで、大事にいたらなかった事例が見られます。例えば、子どもが食品やおもちゃの部品などを喉に詰まらせ窒息する事故の中にも、応急手当が適切に行われた事例がみられます。万が一

のとき、慌てず適切な行動ができるように講習会に参加するなど、対処方法を覚えておきましょう。



子ども家庭庁「応急手当方法」

救急豆知識

最初の緊急通報は「112」番だった！?

日本で最初に緊急通報（火災報知専用電話）が設定されたのは、大正6年でした。関東大震災をきっかけに、人力での電話交換制から自動交換へ切り替わり、その際にダイヤル時間が短くてすむ「112番」が割り当てられました。しかし、間違い電話がとて多かったことから、業務や他業種に支障が出るのとこととで局番の最初の数字としては使われることのない「9」を採用し、現在の「119」になりました。